

ゆめの甲

ねている時 甲ゆ を見さ

あとろりの家とそつて

植木が有り 水やりをしていら

仲山道側は 子辰家が少るく

まほらにまろ 踏木林を穿して

くすか樹新通のた見をよ

とこまてが 道路かわから 甲ゆのて

竹おーきで 道路を何処に いる現にさう

のゆめを見さ

昨日とゆめが

目かさゆた

帰る悪人だいた 丁さん

とゆめん 帰ること 元菊

と言つていら

アー 丁さん と思つた とたん

目がさゆた

道云のふ来ことでも

わすれぬわすれぬ ことか ずぬ

そのは 土切と 思つて いら 心の甲た

思

